

くほ ゆうき
工事部 久保 優季



未熟者でご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、お力になれるよう日々全力を尽くしますのでよろしくお願ひします。

ふるい けんた
総務部主任 古井 健太



採用活動では、学生さんに森長工務店の魅力を感じてもらえるように頑張ります。よろしくお願ひ致します。

出産報告

もりなが
森長常務

第二子 文(あや)ちゃんご誕生!



2021年5月11日に新しい家族が増え、ますますにぎやかになりました。子供たちの為にもがんばります。

社内イベント情報

- 4月1日 入社式
- 4月29日 年次計画発表会
- 6月22日 安全大会
- 7月15日 納涼祭
- 9月1日 防災訓練
- 9月24日 森長安全衛生協力会ポウリング大会
- 秋開催予定 森栄会・森長工務店合同旅行

株式会社 森長工務店
〒535-0003
大阪市旭区中宮 1-1-11
TEL06-6952-3331
FAX06-6953-5631
www.morinaga-net.co.jp

現場探訪 ~株式会社シード豊中新工場~

お施主様は本社工場・事務所が老朽化し、移転を含め建替えを長年検討されてきました。そんな中、今回の現場である豊中市勝部に移転を決定され、工事着手に至りました。
同地は、阪神高速池田線から西(大空港側)に入った、産業誘致区域内にあります。事業所の集積を図り、安定

現在施工中の「株式会社シード豊中新工場新築工事」の現場を紹介させていただきます。お施主様の株式会社シード様は、1915年に消しゴムを中心とする文具のメーカーとして大阪市都島区に創業されました。1958年には、プラスチック消しゴムを世界に先駆け生産開始されました。その後、1968年には修正テープを世界で初めて開発されました。同年には、代表製品のプラスチック消しゴムの「レーダー」を販売開始し、今日まで販売を続けるほどのロングセラー商品となっております。



ロングセラー商品の消しゴム「レーダー」

また、文具の枠を超え「住まいの消しゴム」として住居掃除用品の開発製造もされています。尚、消しゴムの国内シェアは80%以上となっております。
また、文具の枠を超え「住まいの消しゴム」として住居掃除用品の開発製造もされています。尚、消しゴムの国内シェアは80%以上となっております。



現場内覧会の様子

現場では、定期的な現場通信を発行して、お施主様、近隣様に工事の進捗・工事内容等の報告や上棟後の現場内覧会等、積極的にコミュニケーションを図りながら

現場では、定期的な現場通信を発行して、お施主様、近隣様に工事の進捗・工事内容等の報告や上棟後の現場内覧会等、積極的にコミュニケーションを図りながら



屋上から

ており、今後は、事業所の誘致が計画され、整備が期待されている地域です。また、大阪空港が隣接しており、屋上からは飛行機の離着陸が間近に見え圧巻です。
近隣には、ウニのつけ麺や地元で人気店であるハンバーグ屋さんや、大型の王将があり、現場社員もグルメに舌鼓を打っております(笑)。



有名なハンバーグ屋さん

現場運営を行っています。現在は、足場の解体も完了し、4月中旬の竣工に向けて、ラストパートで頑張っております。



完成間近の外観

株式会社シードの徳山社長から
工事を振り返ってのご感想

弊社の永年の課題でありました移転について、お互いの本社の地元の縁もあり声を掛けさせて頂きましたところ、条件に合う土地を早急に探して頂き、今回の移転建設に至りました。弊社にとっては一大事業であり、細かな要望にも対応して頂き、安全にも配慮され、無事故・無災害で工事を進めていただきありがとうございます。これからは社員一同、真新しい職場で新鮮な気持ちで事業発展に励んで行きます。

最後に現場所長の菊池から一言

お施主様の社員の皆様からの期待を背負い、身の引き締まる思いでこの一年間職務に当たって来ました。お施主様の更なる発展の一助となれば、大変光栄な事だと感じています。



創立75周年 記念式典

- 巻頭メッセージ P.1
- お客様センターインタビュー P.2
- お客様訪問・トビックス P.8
- 竣工日より・進行中現場 P.4
- 現場探訪・イベント情報 P.4
- その他

かけがえの無い者に

縫い張りや炊事、良人に仕え子を育てる煩瑣な家事をすらかしないかが問題ではない、肝心なのはその事一つ一つが役だつものであったかどうかだ、女と生まれ妻となるからは、その家にとり良人や子たちにとって、かけがえの無いほど大切な者、病気をしたり死ぬことを怖れられ、このうえもなく嘆かれ悲しまれる者、それ以上の生き甲斐はないであろう

(山本周五郎「日本婦道記 風鈴」)

今の日本には20万人を超える建築技術者がいるそうです。そうと聞いて、自分は20万分の一に過ぎないと思うのは、大きな間違いです。肝心なことは、あなたが担当をしているお客様にとっては、あなたが唯一無二の建築技術者だということです。他に何十万の技術者がいようと、かけがえの無い者はあなた一人だということです。それは母親と呼ばれる人が日本に何千万人といっても、自分にとってかけがえの無い母は、ただ一人しかいないのと同じなのです。そこに私たちがかけがえの無い唯一無二の存在になる可能性があり、誰もが生き甲斐を持てる根拠があるのではないのでしょうか。

自分は詰まらない仕事をしていると思っている人が、人生に生きがいを感じ、自分に価値を感じるには、仕事に価値を見出さねばなりません。そしてどんな仕事であれ、仕事として成り立っているのなら、必ず人のお役に立っており、お役に立つ相手にとってかけがえの無い存在になりえるのです。

そして仕事に価値を感じるためには、仕事の価値をお客様の立場に立って見ればいいのです。私たちは365日建築に携わり、ともすれば日常の中に仕事の価値を見失ってしまうこともあるかもしれません。しかし、お客様から見れば、それは一生払い続けなければならないローンを抱えての自宅の建築であったり、社運をかけての工場建設であったりするのです。その視点からすれば、仕事の価値はたいへん切実であり、同時にあなたはその切実な価値を実現するかけがえの無い唯一無二の存在なのです。

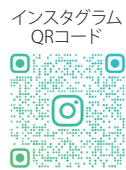
人はものごとに見出した価値に比例して、その価値を実現するものです。仕事の価値をどこまで深く見出せるか、その人の自己価値はそこで決まってくるのではないのでしょうか。顧客本位とは、もちろんお客様のためでもあります。それ以上に自分のための言葉だと自覚したいものです。



代表取締役 森長 敬

編集後記

MORINAGAPRESS第23号編集にあたり、ご協力並びにご支援いただきました皆様へ感謝申し上げます。コロナはなかなか終息せず、ロシア軍がウクライナへの軍事侵攻に踏み切ったりと暗いニュースが多い日々ですが、一方で北京五輪では日本のメダルが過去最多の18個獲得と明るい話題もありましたね。話は変わりますが、当社では社内的な事から社員のプライベートな事まで色々な話題をホームページのブログで掲載しております。ご興味ある方は是非一度ご覧いただけましたら嬉しいです。インスタグラムも最近はじめましたので合わせてご紹介させていただきます! (編集担当: 営業部)



～お客様センターインタビュー～

土居センター長編

— 配属前から色々苦悩があったのですね。では配属後のお話を少しお聞かせ下さい。

土居 当時は、アフターサービス（メンテナンス）等の仕組みもありませんでしたし、何もかも手探りで試行錯誤の結果、今のお客様センターのシステムを作り上げていく事から始めました。創設当初は、前文で話した通り何も仕組みとしてありませんでしたから、まずは、何年も顔を合わせていないお客様を1軒1軒訪問す

— それではまず、設立当初の事をお聞かせ下さい。

土居 任命を頂いた時は、正直、自分の気持ちも全然乗らずお客様センターへの異動を何度も拒みました（笑）。当時の私は、工事で現場所長を務め、第一線で働き、一番油の乗っている時でしたから、メンテナンスという裏方の仕事には正直躊躇しました。しかし、社長とも何度も話し合い、建物のお引渡し後も、「安心と信頼」をお客様に訴求できる会社にする為には、今後重要な部署であるという事も自分自身理解し、お受けする事になりました。



お客様センター長 土居 政見
1979年入社（入社43年目）
お客様センター設立時メンバー（配属23年目）

当社では、竣工後のお客様へのアフターサービス（メンテナンス）の専門部署として2000年に「お客様センター」を設立しました。現在では、この部署が中心となり、竣工後の建物における様々なトラブルやご要望に対応し、お客様の不安を取り除けるような活動を行っています。今回は、そんな「お客様センター」の設立当初のエピソードや日常の業務内容について、土居センター長にインタビューさせていただきます。

— 今では、OB顧客からのご依頼や定期点検等、多岐に渡る業務をされていますが、業務で意識されている事や注意している事をお聞かせ下さい。

土居 お客様からのご依頼事に真摯に向き合い誠実に確実に答える事です。お客様が何を望まれているかを会話の中で見つけ何をどのように解決すべきかを考えています。特に工場関係の建物や設備に関しての改修等のご依頼になると、お客様の方が精通されている事もありません。その時に、期待に応えられず「ごめんなさい」で引き下がる訳にもいきませんので、建物に関して、常にお客様の業種や仕事内容などにも好奇心を持って、お客様の役に立てないかを常に考えています。



建物点検の様子

— 創設当初の状況が伝わるエピソードです。

土居 当社に拝命を受け建物を建てさせて頂いたのは、ご縁があったことだと思えます。お客様も私共の訪問を待ちわびていたのかもしれない。なかつた当社での対応を反省して

— 現在は、OB顧客からのご依頼や定期点検等、多岐に渡る業務をされていますが、業務で意識されている事や注意している事をお聞かせ下さい。

土居 お客様からのご依頼事に真摯に向き合い誠実に確実に答える事です。お客様が何を望まれているかを会話の中で見つけ何をどのように解決すべきかを考えています。特に工場関係の建物や設備に関しての改修等のご依頼になると、お客様の方が精通されている事もありません。その時に、期待に応えられず「ごめんなさい」で引き下がる訳にもいきませんので、建物に関して、常にお客様の業種や仕事内容などにも好奇心を持って、お客様の役に立てないかを常に考えています。



お施主様との定期点検の様子

— 今後もお客様センター長としての益々の活躍を期待しています。インタビューへのご協力ありがとうございました。次号では、同じく「お客様センター」の籠顧問へインタビューさせていただきます。

土居 お客様にとって使用中の建物に関するトラブルは多岐に亘りますが、今後もお客様からの「ありがとう」や「ご苦労様でした」の一言を頂けるように、そして、お客様に堂々と「お任せください」とはっきり言えるよう、建物の進化に負けず私も進化し続けられるよう頑張っていきます。

— 定期点検では私達営業部も同行させて頂いた機会がありますが、土居センター長の建物の細部に亘る変化の観察力にはいつも驚いています。

では最後にお客様センターとしての今後の意気込みをお聞かせ下さい。

— 当社は多様な建築物を施工させて頂いている分、メンテナンスや改修のご依頼も複雑そうですね。定期点検で意識されている事はありますか？

土居 新築工事中の現場にできる限り立ち寄り、その時に気になっていたことが引き渡した後、建物にとってマイナス面として出ていないか又、過去の点検で直させて戴いたところが、再発していないかを中心に意識して点検しています。他にも意識している事は数えればきりありません（笑）

竣工だより

東淀中学校増築その他工事



設計者：大阪市都市整備局
完成日：2022年3月31日
構造・規模：RC造・3階
施工床面積：2,382.43㎡

(仮称)芦屋マンション計画



設計者：自社
完成日：2022年2月28日
構造・規模：RC造・5階
施工床面積：837.16㎡

吹田市立千里第二小学校 校舎棟増築工事



設計者：吹田市都市計画部資産経営室
完成日：2021年11月15日
構造・規模：RC造・4階
施工床面積：3,344.8㎡

スーパー・コート宝塚・小林新築工事



設計者：(株)ラフト
完成日：2021年12月28日
構造・規模：S造・4階
施工床面積：3,052.36㎡

進行中現場

- (株)S豊中新工場新築工事
- 西淡路小学校増築その他工事
- H鉄工(株)新工場新築工事
- 天王寺動物園ペンギン・アシカ舎建設工事
- (株)S機械製作所京都工場新事務所新築工事
- 野里小学校増築その他工事

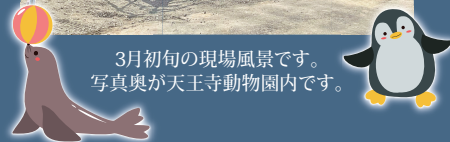
トピックス

天王寺動物園 ペンギン・アシカ舎建設工事受注!

開園101周年を迎えた天王寺動物園が、次の100年を魅力あふれる動物園であり続けられるよう策定された「天王寺動物園101計画」によりローテーションで施設整備を進めていく大規模リニューアル事業をされています。その内の「海洋動物ゾーンの整備工事」を当社が大阪市一般競争入札にて落札し受注させていただきました。今回の受注は、社長が社員のワクワクするような現場を受注したいという想いから実現に繋がりました。まだ現場も着手したばかりですので、受注のエピソードは現場の様子と合わせて今後の記事で掲載させていただきます。



3月初旬の現場風景です。
写真奥が天王寺動物園内です。



お客様訪問



新町レジデンス高津屋オーナー 中田 登志子 様

今回マンションを建設した土地は、かつて私が生まれ育った家であり、建具製作工場を兼ねた町工場だったのです。父は有名な建築家の村野藤吾さんとも一緒に仕事をすることがある、建具屋を営んでいました。やがて家業を次ぐ者が居なくなり、父から譲り受けた建物が残りました。建物は父の手による建具がしつらえてあり、市街地には貴重な数寄屋づくりの京町風でしたので、娘たちと京町ダイニング高津屋という屋号で飲食店を営んでいました。年齢とともに店の継続が難しくなり、土地活用を検討することにしました。そして縁ある方から森長工務店さんを紹介していただきました。森長さんは私たちの沢山の要望を汲み取ってくださるとともに資金繰りについてもアドバイスをいただき、当

初五年間は民泊を運営し、六年目以降に賃貸マンションに移行していくことにしたので、そして工事が始まった矢先、コロナ禍に見舞われ最大の難関を迎えることとなってしまったのです。家族で話し合った結果、民泊を断念せざるを得ませんでした。直ちに工事内容をマンション用に変更する必要がありました。そんな状況の中、現場監督さんや営業さんは何度も何度も打合せに親切に対応していただき、職方さん達も大変頑張ってくださり、この予想だにできなかったアクシデントを乗り越えることができました。また、父の建具の一部を活かしたいという願いも叶えてくださり、私たちが思っていた以上の建物が完成しました。工事に携わって下さった皆様に大変感謝しております。アフターメ



ンテナンスも迅速に対応してくださることや、定期点検を完璧にしていたいただき、森長工務店さんに出会えたことを幸せに思っております。どうぞ今後とも末長いお付き合いを宜しくお願い致します。